

第29回宇宙環境利用シンポジウム（旧・宇宙利用シンポジウム）の発表募集

宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所
宇宙環境利用科学委員会委員長 石岡憲昭

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

過去に 28 回開催されてきた宇宙利用シンポジウムにおいては、その多くの講演が宇宙環境利用科学に強く関連している状況を踏まえて、本シンポジウム名称を「宇宙環境利用シンポジウム」に変えて継続開催とすることにしました。

つきましては、第29回宇宙環境利用シンポジウムを下記の要領で開催致しますので、ご案内申し上げます。

本シンポジウムは、宇宙特有の環境（微小重力、宇宙線、太陽光、真空等）を利用する科学の諸分野での成果を研究者の間で広く討論する場です。全国の科学者が宇宙環境利用科学に関連する研究計画を提案し、関連の研究者と議論することにより、科学としての宇宙への要望をまとめ、研究の方針や戦略を策定し実現していくのに、本シンポジウムは大きな役割を果たします。

本シンポジウムでは、国際宇宙ステーションなどでの宇宙実験により得られた成果をはじめ、現在開発中または提案されている研究チーム(RT)およびワーキンググループ(WG)の報告、ならびに宇宙環境利用科学とその周辺の現況について情報を共有し、それぞれの研究分野の学術的意義を確かめ、この分野の学術の将来展望を広く研究者の間で論議することを期待します。なお、RT および WG 活動を提案または継続する、あるいはその次の段階である宇宙実験準備研究への提案を目指すためには、このシンポジウムで課題を広く討論することが強く望まれます。

物質科学・生命科学・基礎科学および関連する技術分野の発表について奮ってご応募ください。

記

- 討論主題 宇宙環境利用科学の計画と将来の展望
- 開催要領 日時 2015年1月24日(土)、25日(日)
場所 宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス 研究・管理棟 2F 会議場
〒252-5210 相模原市中央区由野台 3-1-1
アクセス: JR 横浜線: 淵野辺駅より徒歩 20 分
<http://www.isas.jaxa.jp/j/about/center/sagami/access.shtml>
- 発表申込 宛先 inatomi@isas.jaxa.jp
期限 2014年12月12日(金)
- 申込要領 発表申込は、必ず **1件につき1つのメール** で行って下さい。
メールの件名は、「**SUS29+申込者姓(ローマ字)**」(例: SUS29 Inatomi)とし、内容に後述の項目を記入して下さい。
12月19日(金)までに申込受領通知が届かない場合は、Fax 042-759-8808 へご連絡下さい。
- 発表論文 シンポジウムの後に発表論文を Web 上で公開します。
発表論文原稿はシンポジウム当日までに提出して頂きます。
原稿の概要は、A4(10pt、二段組) 2~4 頁で英文アブストラクトを含みます。
発表論文原稿のテンプレートは発表申込者に送付します。
- 問合せ先 〒252-5210 相模原市中央区由野台 3-1-1
(世話人) 宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所 稲富裕光
電話: 050-3362-5180 Fax: 042-759-8808 E-mail: inatomi@isas.jaxa.jp
- 注 意 **今年度はポスター発表がありません。口頭発表のみとなります。**
すべての申込発表題目をプログラムに含めないこともあります。

なお、発表論文の著作権は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)に帰属させていただきます。ただしこれは、発表論文の著作権に関して第三者による悪用を避け、またデータ検索などの目的のために発表論文を JAXA が提供するためにとられる措置です。原著者が他の出版物などに論文のすべてあるいはその一部を用いることは自由であり、JAXA に使用の許諾などを求める必要はありません。

<申込メールの内容> 下記の内容をメール本文へコピー&ペーストしてご利用下さい。

1. 申込者 氏名:

氏名(英語):

職名:

所属:

所属(英語略称):

住所: 〒

電話:

Fax:

メールアドレス:

2. 発表題目:

発表題目(英語):

3. 登壇者(申込者と同じときも記入してください) 氏名:

氏名(英語):

職名:

所属:

所属(英語略称):

メールアドレス:

4. 共著者(適宜追加してください) 氏名:

氏名(英語):

所属:

所属(英語略称):

メールアドレス:

5. 発表概要(100字程度、プログラム編成に使用し公表されません):